



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 河野 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 高工 弘

TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,977	△12.4	△86	—	△41	—	△1	—
26年3月期第2四半期	2,256	△25.8	△63	—	△73	—	△108	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 273百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △57百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	△0.21	—
26年3月期第2四半期	△11.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第2四半期	3,828	1,446	37.8	152.42
26年3月期	4,415	1,172	26.6	123.57

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,446百万円 26年3月期 1,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,300	△3.8	10	—	40	—	90	—	9.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日(平成26年11月11日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社東京製粉機製作所
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	9,502,636 株	26年3月期	9,502,636 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	14,200 株	26年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	9,488,436 株	26年3月期2Q	9,488,436 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)における経済情勢は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進により、景気は緩やかな回復基調にあり、物価動向はデフレ状況ではなくなっています。消費税率引き上げに伴う反動減については、消費動向に持ち直しの動きが見られ、賃金については緩やかに増加しており、雇用と所得の増加を伴う経済の好循環が動き始めております。

当社の主要な得意先業界であります製粉業界では、本年7月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均(税込価格)で58,590円/トンと前期比2.3%の引上げとなり、4期連続の上昇となりました。製粉各社は7月1日出荷分から小麦粉の価格改定を行っております。日豪経済連携協定(日豪EPA)交渉では、食糧用小麦の関税変更はありませんでしたが、牛肉関税が段階的に削減されるため、将来的には国内畜産業への影響が想定され、製粉業界においては、生産工程で発生する副産物のふすまが家畜飼料の原料となることから、ふすまの販売環境への影響には留意していく必要があります。

一方、飼料業界は、主原料高騰により2期連続の値上げとなり、飼料価格は史上最高水準にまで上昇しました。また、今年度からは配合飼料価格安定基金制度が抜本的に見直されました。従来の飼料価格を指標とする制度から、輸入原料六品目の通関価格と原料使用量を指標とする制度に変わった訳ですが、制度の浸透にはもう少し時間がかかると考えられます。ただ、畜産相場はどの畜産も過去にはない高値で推移しており、生産基盤の回復に繋がるものと思われまます。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を値上げしましたが、原材料価格の上昇分全てを転嫁できず、依然厳しい事業環境にありました。

このような中、当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS(顧客満足)を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストダウンらびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。

しかしながら、当社グループの連結売上高は、受注競争激化による受注の伸び悩みや顧客の設備投資の先送りなどがあり、当社の中小規模飼料プラント工事物件の売上などはありましたが、1,977百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

また、損益面に関しましては、売上高減少などの影響を受け、営業損失86百万円(前年同四半期は営業損失63百万円)、償却債権取立益などがあったことにより経常損失41百万円(前年同四半期は経常損失73百万円)となり、特別利益の保険解約益や法人税等を加減して、四半期純損失1百万円(前年同四半期は四半期純損失108百万円)となりました。

[産業機械関連事業]

当社グループは、厳しい事業環境のもと受注・売上確保のために積極的な営業活動を展開し、売上の主要なものとして、ロール製粉・石臼製粉・混合設備、抗菌剤マッシュバラ出荷設備、鶏豚ペレット・クローラー更新工事、小規模原料設備設計製作据付工事などの各種製粉・飼料設備工事のほか、その他主力製品のロール機、シフター、精選諸機械などの売上があったものの、売上高は1,954百万円(前年同四半期比12.5%減)と前年同期に比べ減少いたしました。損益面に関しましては、プラント工事ほかの予算管理の徹底、経費削減などに努めましたが、売上高減少により営業損失105百万円(前年同四半期は営業損失82百万円)となりました。

[不動産関連事業]

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高22百万円(前年同四半期比1.4%減)、営業利益18百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産に関する状況

資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,828百万円となり、前連結会計年度末に比較して587百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が637百万円、受取手形及び売掛金が182百万円、仕掛品が55百万円減少したことなどによるものであります。

負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は2,382百万円となり、前連結会計年度末に比較して860百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が178百万円、短期借入金が243百万円及び長期借入金及び社債が437百万円減少したことなどによるものであります。

純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,446百万円となり、前連結会計年度末に比較して273百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が282百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ511百万円減少し535百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果支出した資金は90百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が1百万円となり、売上債権の減少額180百万円、たな卸資産の減少額82百万円の収入に対して前受金の減少額138百万円、仕入債務の減少額183百万円及び法人税等の支払額9百万円などの支出があったためであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果得られた資金は270百万円となりました。これは主に、定期預金の解約に係る収入160百万円、保険積立金の解約による収入120百万円などがあったためであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は689百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の純減少額が671百万円、社債の償還による支出10百万円などがあったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月13日に公表いたしました平成27年3月期通期の連結業績予想並びに個別業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(平成26年11月11日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<参考>

通期業績予想

(単位：百万円)

区 分	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連 結	4,300	10	40	90	9円49銭
個 別	3,500	10	40	10	1円5銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年8月1日付で、当社を存続会社、当社の完全子会社である株式会社東京製粉機製作所を消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、株式会社東京製粉機製作所を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,448	614,733
受取手形及び売掛金	797,511	614,707
商品及び製品	77,649	56,709
仕掛品	297,580	242,299
原材料及び貯蔵品	68,109	57,702
その他	77,976	97,703
貸倒引当金	△531	△3,070
流動資産合計	2,606,745	1,680,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	166,656	160,862
機械装置及び運搬具(純額)	51,895	46,584
土地	927,218	927,218
その他(純額)	47,858	53,338
有形固定資産合計	1,193,628	1,188,003
無形固定資産		
その他	47,593	43,186
無形固定資産合計	47,593	43,186
投資その他の資産		
投資有価証券	449,451	870,615
その他	157,941	85,694
貸倒引当金	△39,425	△39,425
投資その他の資産合計	567,967	916,883
固定資産合計	1,809,188	2,148,074
資産合計	4,415,934	3,828,860
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	972,560	794,315
短期借入金	434,491	191,160
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	8,829	9,713
前受金	261,549	123,119
賞与引当金	16,153	27,630
工事損失引当金	—	1,882
その他	79,636	66,383
流動負債合計	1,793,219	1,234,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	919,860	491,890
退職給付に係る負債	216,214	215,219
資産除去債務	19,698	19,698
その他	244,421	381,603
固定負債合計	1,450,195	1,148,412
負債合計	3,243,414	2,382,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,733	1,605,733
利益剰余金	△455,135	△457,095
自己株式	△8,941	△8,941
株主資本合計	1,141,655	1,139,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,030	255,028
為替換算調整勘定	73,678	59,409
退職給付に係る調整累計額	△15,784	△7,892
その他の包括利益累計額合計	30,863	306,546
純資産合計	1,172,519	1,446,242
負債純資産合計	4,415,934	3,828,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,256,015	1,977,124
売上原価	1,883,496	1,633,939
売上総利益	372,518	343,184
販売費及び一般管理費	436,139	430,141
営業損失(△)	△63,620	△86,957
営業外収益		
受取利息	1,173	2,402
受取配当金	5,716	618
負ののれん償却額	2,375	—
償却債権取立益	—	36,553
その他	14,643	21,051
営業外収益合計	23,907	60,625
営業外費用		
支払利息	15,985	10,864
持分法による投資損失	2,021	2,119
為替差損	1	8
その他	15,749	1,825
営業外費用合計	33,758	14,818
経常損失(△)	△73,470	△41,149
特別利益		
投資有価証券売却益	49,689	—
保険解約益	—	50,433
子会社清算益	4,650	—
特別利益合計	54,340	50,433
特別損失		
固定資産除却損	—	190
課徴金引当金繰入額	82,710	—
特別損失合計	82,710	190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△101,840	9,092
法人税、住民税及び事業税	16,912	6,321
法人税等調整額	△10,568	4,731
法人税等合計	6,344	11,052
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108,185	△1,959
四半期純損失(△)	△108,185	△1,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108,185	△1,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,306	282,059
為替換算調整勘定	49,770	△14,269
退職給付に係る調整額	—	7,892
その他の包括利益合計	51,076	275,682
四半期包括利益	△57,108	273,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,108	273,722
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△101,840	9,092
減価償却費	22,577	23,997
負ののれん償却額	△2,375	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△647	2,539
課徴金引当金の増減額(△は減少)	82,710	—
受取利息及び受取配当金	△6,889	△3,021
支払利息	15,985	10,864
持分法による投資損益(△は益)	2,021	2,119
投資有価証券売却損益(△は益)	△49,689	—
子会社清算益	△4,650	—
売上債権の増減額(△は増加)	371,779	180,058
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,980	82,852
前受金の増減額(△は減少)	206,877	△138,429
仕入債務の減少額	△216,691	△183,303
その他	26,085	△63,579
小計	326,273	△76,808
利息及び配当金の受取額	6,889	3,021
利息の支払額	△16,714	△10,494
法人税等の支払額	△26,403	△9,921
法人税等の還付額	3,882	3,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,927	△90,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,315	△11,791
投資有価証券の売却による収入	63,038	—
保険積立金の解約による収入	—	120,732
その他	△342	161,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,379	270,786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△152,310	△8,800
長期借入金の返済による支出	△305,391	△662,501
リース債務の返済による支出	△7,792	△8,433
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△475,493	△689,734
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,413	△1,463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△113,772	△511,117
現金及び現金同等物の期首残高	1,036,459	1,046,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	922,686	535,404

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,232,927	23,087	2,256,015	—	2,256,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	571	571	△571	—
計	2,232,927	23,659	2,256,586	△571	2,256,015
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△82,954	19,333	△63,620	—	△63,620

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,954,370	22,753	1,977,124	—	1,977,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,954,370	22,753	1,977,124	—	1,977,124
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△105,664	18,707	△86,957	—	△86,957

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。